

## クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2022年6月14日

シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～13号【シンガポールドル建て】シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～3号【円建て】シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～3号運用状況につきまして

投資家の皆様におかれましては、平素より格別のお引立てを賜りまことにありがとうございます。

シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンドシリーズ(以下、「本ファンドシリーズ」といいます。)について半年ごとの運用状況をお知らせします。なお、次回の定期運用報告は2022年12月期を予定しています。

## 本レポートの要旨

- 本ファンドシリーズでは債務再編を実施済です。後掲する【債務再編の概要】をご覧ください。
- 本営業者グループ会社（後述）はかかる債務再編を通して本件債務者たるU社（後述）の株式を取得しました。その株式の段階的な売却等で資金回収を図る前提でモニタリングを続けています。
- 直近の為替レートをふまえた最終的な回収率は元本比（SGDベース）で約38.3%～73.9%です。
- その他、前のご報告（2022年4月14日付）以降特筆すべきご報告事項はありません。

## 【本ファンドの運用状況(通貨シリーズ毎)】

通貨シリーズ	出資金残高（円）	運用残高 <sup>1</sup>
USD 建て	308,444,949	USD 2,550,768.53
SGD 建て	29,475,131	SGD 350,287.92
円建て	64,328,817	62,004,457 円

## 【当初の運用スキーム概要】

- クラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下、「本営業者」といいます。）は、投資家の皆様からお預かりした出資金を、Crowdcredit Estonia OÜ（以下、「本営業者グループ会社」といいます。）に対して貸付けました。この貸付は、シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～

<sup>1</sup> 本営業者（後述）から本営業者グループ会社（後述）に対する貸付債権の元本額

13号においては米ドル（USD）建てで、他の各ファンドにおいてはファンド名に記載の通貨建てで行いました。

- 本営業者グループ会社は、その借入金を原資として次の2つの案件を行いました。
  - ① シンガポールに本社を持ち広告代理業を営むベンチャー企業である BONSEY JADEN PTE. LTD.（以下、「U社」といいます。）への貸付
  - ② 【USD 建て】1号～10号、【シンガポールドル建て】1号～3号、【円建て】1号～3号につきましては、Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介した、ジョージア（旧グルジア共和国）の会社 Creamfinance Georgia LLC が取り扱う個人向けローン債権の購入

### 【本件の分配予定時期および予定回収率（2022年5月期時点）】

予定回収率は為替レートの変動に応じて増減します。

分配予定時期	2024年および2025年
予定回収率（下限 <sup>2</sup> ～上限 <sup>3</sup> ）	38.3%～73.9%

### 【案件①において過去に実施済みの債務再編の概要および今後の回収方法】

2020年11月期において、本営業者グループ会社はU社との間で債務再編を実施することでU社の株式を取得しました。その後、本営業者グループ会社はU社株式の売却による本件ファンド財産の回収を目指しています。

なお、2022年3月期において、U社が同社筆頭株主（以下、「投資家A」といいます。）から株主ローンを調達したことに伴い、本営業者グループ会社によるU社株式売却条件が変更されました<sup>4</sup>。

2022年3月期以降、本報告書のご送付時点現在において、本営業者グループ会社が予定する回収の方法は次のとおりです。

- ① 投資家AがU社に対して課す2023年と2024年の条件（※）を満たす場合において、本営業者グループ会社が2024年中と2025年中の2回に分けて投資家AへU社株式を売却すること。
- ② または、投資家Aもしくは投資家Aの持ち株会社が特定の公開株式市場に上場する場合には、本営業者グループ会社が保有するU社株式を投資家Aもしくは投資家Aの持ち株会社の発行する株式と交換すること。

なお、投資家AがU社に対して課す条件（※）は次の通りです。

<sup>2</sup> 本営業者グループ会社の保有株式売却がかなわないかU社の清算等で同株式が無価値となり、2020年12月期に回収済みのSGD 3,000,000以外の回収がない場合。

<sup>3</sup> U社の条件（※）達成により最大額で投資家Aに株式を売却する場合。さらに、投資家Aローン実行後においては本営業者グループ会社保有株式の希薄化が少なく済む場合。

<sup>4</sup> 2022年4月14日付の運用状況報告書をご覧ください。

条件(※)： U社の年間 EBITDA および純利益基準がそれぞれ特定の水準を達成すること (EBITDA は earnings before interest, tax, depreciation, and amortization の略で、国によって異なる税率、利率、償却率等の影響を取り除いて企業の収益性を比較することを可能にするために税引前利益に支払利息と減価償却費を足し戻して算出する利益のこと。)

以上が今回のご報告となります。

今後とも当社業務に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要 (クラウドクレジット・ファンディング合同会社)

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

クラウドクレジット・ファンディング合同会社、本営業者グループ会社 (Crowdcredit Estonia OÜ) およびクラウドクレジット株式会社 (連結ベース) の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2021年12月末現在・単位：千円)	1,000	13,924,060	13,939,753	△ 15,692	1,749,015	60	617	547
Crowdcredit Estonia OÜ (2021年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	108,182,360	107,524,536	657,824	12,663,766	2,194	△ 17,708	△ 17,708
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2021年12月末現在・単位：千円)	50,000	16,899,282	16,336,670	562,612	1,926,201	△ 418,142	△ 413,478	△ 415,833

※会計期間(2021年1月1日から2021年12月31日まで)の金額を記載しております。